

例会報告

Rotary

高山西ロータリークラブ



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
9 月 名古屋城 ③ 新井 典仁

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

高山 3 RC 合同ガバナー公式訪問例会

9 月 28 日 (木) 12:30~ ホテルアソシア高山リゾート
＜プログラム＞

司会進行	高山 RC 幹事	平瀬 市兵衛
点 鐘	高山 RC 会長	小林 一輝
ロータリーソング	奉仕の理想	
ゲストの紹介	高山 RC 会長	小林 一輝
国際ロータリー第 2630 地区	ガバナー	田山 雅敏 様
国際ロータリー第 2630 地区	岐阜県濃飛グループ AG	井尾 達之 様
国際ロータリー第 2630 地区	代表幹事	中井 茂平 様
国際ロータリー第 2630 地区	代表幹事	神戸 照男 様
国際ロータリー第 2630 地区	地区大会実行委員長	松本正博 様
地区委員の紹介	高山 RC 会長	小林 一輝
国際ロータリー第 2630 地区	バスターガバナー	桑月 心 様
国際ロータリー第 2630 地区	直前ガバナー	剣田 廣喜 様
国際ロータリー第 2630 地区	財務委員会委員長	前越 路子 様
国際ロータリー第 2630 地区	鞆部商工会委員会委員	伊藤 正隆 様
国際ロータリー第 2630 地区	広報 / IT 部門委員長	伊藤 松寿 様
国際ロータリー第 2630 地区	米山記念奨学部門委員長	村瀬 祐治 様
国際ロータリー第 2630 地区	青少年育成小委員会委員長	下田 徳彦 様
国際ロータリー第 2630 地区	危機管理委員会委員	益田 大輔 様
国際ロータリー第 2630 地区	ロータリーの友委員会委員	清水 幸平 様
国際ロータリー第 2630 地区	会員増強委員会委員	平林 英一 様
国際ロータリー第 2630 地区	青少年交換委員会委員	三枝 祥一様
国際ロータリー第 2630 地区	インターアクト委員会委員	塚本 直人様
食 事		
会長の時間	高山 RC 会長	小林 一輝
出席報告	各クラブ出席委員長	
ニコニコボックス	高山 RC ニコニコ委員長	
歓迎の挨拶	高山西 RC 会長	米澤 久二
ガバナー紹介	井尾 達之ガバナー補佐	
ガバナー表彰・卓話		
謝 辞	高山中央 RC 会長	中田 専太郎
点 鐘	高山 RC 会長	小林 一輝
写 真 撮 影	3 RC 合同	

＜会長の時間＞

高山 RC 会長 小林 一輝 様

3 月に会長エレクト研修セミナーをかわきりに本年度、63 代目の高山 RC 会長を務めさせていただきます。各セミナーは改めて RC を考える良い機会となりました



田山ガバナーは、10 年後のあるべき姿を常に考え「未来を創造

しよう」をスローガンにロータリー活動を展開していきましようと言われています。今までロータリーの 10 年について考えるような立場にたったこともあります。考えたことはありませんでした。その中でも会員増強は、大きなウェイトを占めています。

会長エレクトセミナーより、RC 活動を推進することを目標に、まずは会員増強を推進することが課題として与えられています。高山 RC の過去を振り返ってみると、私が平成 10 年に入会した時は会員数が 64 名、平均年齢が 54.06 才で、今年度は 39 名、平均年齢 63.15 才というように推移しています。多くのクラブ同様に会員の減少と平均年齢の上昇が見られます。会長になりまして、会員増強が必要なことは十分わかりました。会員増強にクラブの魅力を示すことは重要です。

では、クラブの魅力とは何かといいますが、もちろん人道奉仕の推進も大切ですが、私の中では職業奉仕の理念、会員の多様性を認めていただける土壌があること、ロータリーブランドの矜持があることと考えています。自分が高山 RC になぜ 19 年間在籍して来たかを考えると、会員の皆様と親睦を深めることが楽しいということではないかと思っています。「高山ロータリーを楽しもう」をテーマに今年活動しています。毎年楽しい仲間を一人ずつ純増していけば 10 年には 10 人増えて 49 名になります。

全国的に若者が減り高齢化が進む中で、高山 RC も 49 名、平均年齢 65 歳くらいでも十分だと思っています。今後 3 クラブとも会長は徐々に若くなっていくと思います。クラブ経営の考え方も変わっていき、3 クラブ合同で行うことや強調していくことも増えていくのではと思っています。

各クラブの多様性を尊重しつつ 3 クラブが発展していくことを願っています。

＜地区大会のお礼＞

地区大会実行委員長 松本正博 様

高山 RC の皆様、高山西 RC の皆様そして高山中央 RC の皆様こんにちは。上野東クラブの松本でございます。今年度地区大会の実行委員長を拝任しております。こうやって田山ガバナーの随行として公式訪問にお邪魔するのは 10 回を超えております。今日はお礼にお邪魔をいたしました。おかげをもちまして当初目標にしていた数字を超えることが出来ました。当日数 1,520 人です。皆様方のご厚情に感謝を申し上げる次第でございます。もう一つ申し上げますと実は、インターアクトであるとかローターアクト、ご婦人の皆さん、会員外にも登録 79 名。合計すると 1,599 名、もし高山の中でもう一人出席してあげようという人がみえましたら、私が今日帰るまでに 1 万円頂戴しに参りますので、登録して下さいましたら 1,600 という数字になります。よろしく願います。



ロータリー：変化をもたらす

例会報告

もう一つご報告するのは、先月の末にご出席をいただく会長代理の方が決まりました。愛知県は西尾RCの田中正规様、公共イメージコーディネーターの方であります。それでは10月14、15もう1週間程でございますけども伊賀上野の地でお待ちしております。よろしくお願いたします。

<出席報告> 各クラブ出席委員長

高山RC 会員数 39名 欠席者 10名 出席率 72.98 %
高山西RC 会員数 40名 欠席者 12名 出席率 70.00 %
高山中央RC 会員数 57名 欠席者 10名 出席率 82.14 %

<ニコニコBOX> 高山RCニコニコボックス委員

国際ロータリー第2630地区 ガバナー 田山 雅敏 様
国際ロータリー第2630地区 代表幹事 中井 茂平 様
国際ロータリー第2630地区 幹事 神戸 照男 様
国際ロータリー第2630地区 地区大会実行委員長 松本 正博 様
公式訪問に伺いました。本日はよろしくお願いたします。
国際ロータリー第2630地区 岐阜県濃飛グループAG 井尾 達之 様
ガバナー公式訪問です。よろしくお願いたします。

高山RC 小林一輝 会長、高山西RC 米澤 久二 会長、高山中央RC 中田 専太郎 会長
田山ガバナー、神戸地区代表幹事、松本地区大会実行委員、井尾ガバナー補佐様のご来訪を歓迎いたします。本日はご指導よろしくお願申し上げます。

<歓迎の挨拶>

高山西RC会長 米澤 久二
皆さん こんにちは。国際ロータリー第2630地区ガバナー田山雅敏様、濃飛グループガバナー補佐 井尾達之様、地区代表幹事 中井茂平様、地区大会実行委員長松本正博様、地区幹事 神戸照男様、遠路はるばる「飛騨高山」へ、ようこそおいで下さいました。心より歓迎申し上げます。そして地区役員の皆様、ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

今年度イアンH.S. ライズリーRI 会長は国際ロータリーのテーマを「変化をもたらす」とされ、これを受けて田山ガバナーは地区活動方針テーマを「未来を創造しよう」とされ、具体的に5つの目標を示されました。

ロータリーの歴史は変化の歴史と言われますが、社会の変化に対応し未来を見据えたロータリー活動を展開していかなければならないと思います。本日は田山ガバナーのご指導をえられますことを大変嬉しく思っております。田山ガバナーにおかれましては、本日をふくめこれからも引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また本日もご出席の皆様方のますますのご健勝と、第2630地区の発展を祈念いたしまして、意はつくしませんが、歓迎のあいさつとさせていただきます。

<ガバナー紹介>

濃飛グループガバナー補佐 井尾達之 様

皆さんこんにちは。今日は3クラブの合同例会ということで大変大勢の方に来ていただきましてありがとうございます。

田山ガバナーはガバナーになる前からの研修でサンディエゴ

に行つて本当に一生懸命勉強され、先日も私共の方のガバナー訪問も3クラブ合同で来ていただいてお話しいただきました。大変ロータリー活動に対して造詣が深い話を聞くことができました。今日もとてもいい話が聞けることと思います。是非しっかりと聞いて心にとめていただきたいと思つています。よろしくお願いたします。



<ガバナー卓話> ガバナー 田山 雅敏 様

皆さんこんにちは。本年度ガバナーの田山雅敏と申します。どうぞよろしくお願いたします。先週の土曜日に韓国のソウルで日本と韓国のロータリアンの親善の会がありました。2年に1度開かれていますので、もう14回、隔年で行われておりますから28年、回を数えております。日本から500名位のロータリアン、韓国からももう少し人数だとは思いますが参加していただきました。当地区からは当クラブ、そして高山中央RCの剣田直前ガバナーを含めて約20名位で参加させていただきました。当地区の提携先であります3600地区のガバナー、エレクト、パストガバナーの皆様方も親しく懇親する機会がありました。今度の地区大会にもお見えでございますのでまた交流したいと思っております。全般的にガバナーが若い、だいたい50代の方が多い感じを受けました。活気があるという印象を受けました。再来年は仙台で行われます。

高山西RCが台湾と提携されているとお聞きしておりますけれど、3月1日に日本と台湾の親善会議が台湾の高雄で行われます。台湾との提携が韓国よりも圧倒的に多いので、この時は多くの日本のロータリアンが行かれると思っておりますけれど、提携クラブの訪問を踏まえてご計画をされてもいいと思つています。

当地区の会員数がどうなったかという事が気になる所ですけれど、実は今月末に7月末の数字がまとまってきました。集計は従来年度末に行われていたのですが1ヶ月ずらして7月末に行われることという事で、まだ正確な数字は把握されておませんが、昨年よりは増えているという事だけ間違いのないのでご報告させていただきます。既に月信にも出ていますが6月末の暫定的な数字は一昨年が3,078、今年は3,086名でございます。僅かですが8人会員増です。皆さんご存知のように6月末というのは非常に退会者が出ますのでそれを引いた数字であります。そして7月に入ると新会員がたくさん入って来ます。その新会員の数はこの中には入っておりません。日本34地区どういった状況になっているか、恐らく10地区位が増えているのではないかと想像でございますが、僅かでございますが当地区においては増えていると、一方7月には75名の方が三重と岐阜でご入会いただきました。退会者が6名いらっしゃいましたので69名の純増で当地区は7月末で3,155名の会員数です。先ほど地区大会の実行委員長がお話させていただきました1,599という数字を言っておりましたけれども、3,155名ですから半分近い49%

例会報告

と聞いています。去年の高山での地区大会で50%以上の各クラブの登録をお願いしたいという事を決議していただきました。内容的にはどうしても三重の西のほうにございますので三重県のほうが多いですが、岐阜のほうも特に高山の濃飛グループの皆様にはご協力いただきましてありがとうございます。

会員数としても3,155という事を頭に入れておいていただきたいのですが、だいたいこれくらいの人数がいるという事でこれから増強が本格的になってまいります。この数字は7月末の数字でございます。

会員数は岐阜の方が多のですが、岐阜の人口200万人、三重県180万人です。だいたいその比率でロータリアンもいるわけですけど、女性会員に関しては三重県が恐らく今は100人を超えたのに対し、岐阜県が年度末で65人程度と少し遅れておりますので是非頑張って増強を図っていただきたいと思っております。

来年のRI会長になる予定でありましたアフリカのウガンダ出身のオーリさんという方が7月にアメリカで手術を受けられたのですが合併症を併発されてお亡くなりになりました。従って来年のRI会長が一時欠員状態となりましたが、次の方が中米のハバナで選ばれましたので事なきは得ています。オーリさんはウガンダにおいて国葬で葬儀されたそうです。お亡くなりになる少し前に書かれた文章があります。簡単に訳して申しますと、ある人の生活をちょっと良くするような事に自分が手助けをした事をロータリーを通して知ることが出来た。その事に自分は喜びを感じる。という文章を書かれていることをご披露させていただきます。

私もガバナーになる前に、剣田さんも同じだったのですがアメリカのサンディエゴへ研修に行きまして。世界にガバナーが何人くらいいるかという点、日本で34地区ありますので34人いらっしゃるわけですけど、少し前までは1割近い日本がロータリーの中で影響力を持っていたのですが今は少し落ちて6~7%のイメージになっています。世界の地区数でいきますと525地区という状況です。従って500数十名のガバナーが一堂に会する1週間の講義がありました。世界の色々な方とお会いした中で、私の印象は、皆何でこんなにお若いのかと、50代位の方が多く印象を受けました。特にブラジル、インドなどの国々の方々は生き生きしており、日本、アメリカ、オーストラリアは年齢層が高くギャップを感じました。また男性の方にガバナーだと思いきや名刺を出し挨拶すると、実は女性ガバナーの付添だと言われたことも多くあり、後で調べてみると今年のガバナーは何と約2割の100人以上が女性である事が分かり驚きました。日本からの女性の参加はありませんでしたが、女性ガバナーは青森に1名だけいらっしゃいます。ただ日本のロータリアンの女性比率は約6%、世界では約20%ですので世界的な流れを改めて認識しました。日本の会社の女性社長の比率は10%程度と言われていることからすると、納得のいく数値なのかもしれません。ちなみに当地区では4%と全国を下回っています。

私のクラブもこの10月から3名の女性会員を新規に入会していただくことが決まりました。私達の親クラブに女性1名入会した事に刺激を受け頑張ってみました。これから新しい展開が起こるのではないかと楽しみにしております。

日本のロータリーの例会はほとんどお昼にやっていますが、世界的には違うことを皆さんご存知でしょうか。日本ではお昼に例会を行うクラブが90%です。隣の韓国は昼に例会を行っている所は30%、ではいつ行っているかという事ですが、夜の例会の定義はロータリー的には2つに分かれています。夕食を伴うか伴わないか。韓国では50%が夜の食事を伴った例会、2割位が夕食を伴わない例会を行っています。世界ではお昼の例会は3割も無く、朝に例会を行っている所は南半球に1割程度あ

ります。夕食含みの夜例会が40%夕食なしが20%となっており、日本と比較していただくと大いに違う、これはロータリーの生い立ちにも関係があります。ロータリークラブが始まった時に、我々ビジネスマン、事業家を中心にロータリー活動をやってきた関係もあり、時間があるのはお昼が一番いいねという形でスタートして全国に波及していき、それぞれの地域に行ってもその中核の都市からロータリークラブはできていますからその流れでできているものと思います。ただ会員の職種の変化、ビジネス環境の変化などもあり、出席率向上のためにもこの辺りも見直してもいい頃かなと感じています。一つの事例として参考にしていただきたいと思っております。

つい1週間くらい前に世界の人材育成力という部分のランキングが発表されました。去年4位だった日本は今年17位に落ちております。これは算出方法が変更になった事が影響していますが、変更後の定義は、それぞれの国がどれだけ健康で教養のある人材を育成して維持できるかを示す人的資本指数。ロータリーとは関係ありませんが、ランキングの高い国は北欧、スイス、ヨーロッパといった国が中心ですが、日本が落ちた理由は雇用における男女格差の比重のバランスが崩れている。女性の社会進出が遅れていることが日本にとって非常に不利になっています。日本は人材育成力が高いことを誇りに思っていたのですが、世界的には女性の活躍の場を重視する方向になってきたということです。ロータリーについても同じことが言えるのではないかと思います。取り上げてみました。今日の会長幹事会で、主婦がロータリーに入会する部分で、無職でも入れるのかと質問がありましたが、フランスの例を紹介すると、女性はほとんど仕事をされていますが、出産、育児、介護など一時的に職場を離れることがある中で、ロータリーで奉仕活動を勉強したり、参加したいという希望があって、規定審議会で認められて女性の会員も入れるようになりました。ニーズに応じて形となっています。女性の拘る必要はないのかもしれませんが、更なる会員増強に向け、いろんな選択肢を多くする必要があると思っておりますが、最終的には各ロータリークラブの判断で実施していただければ結構です。

イアン・ライズリー会長がIt's the time to make a differenceという事をおっしゃいました。まず自分自身がロータリー活動を通していい方向に変化をなさい。そして周りにいるロータリアンもその影響を受けそして地域社会に対していい方向に奉仕活動を通して地域に貢献をなさい。こういうことを含めた事を全てやって行くようなことをmake a differenceであるというふうにおっしゃいました。各クラブの自主的な活動もそのmake a differenceに含まれています。会長、幹事さんだけではなく皆さんが同じように情報共有してCLPを進めながらクラブをどうしていくか考えていただきたい。問題提起をしている年でもあります。是非そういった事を踏まえてご自分のクラブの在り方をご検討していただければと思います。

RI的には、自由な選択肢を設けることによって、ロータリークラブが今まで以上に活性化するというデータが15年の間に出ていますので、是非、変化をもたらすロータリークラブにし、地域社会に対して良い方向に奉仕活動を通して貢献してほしいと思っています。

ロータリークラブ全員の皆さんが、今後のクラブの在り方をどうしていくか、を特に考えていただきたいと思っています。問題定義をしていく年でもあります。最後に、高山3クラブのご発展と、高山の地にロータリーありきを是非ご推進していただきますことをご祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

例会報告

< 謝辞 >

高山中央RC会長

中田 専太郎 様

皆様こんにちは。 只今紹介いただきました今年度高山中央ロータリークラブ会長の中田専太郎と申します。どうかよろしくお願ひ致します。

本日は、第2630 地区ガバナーの田山雅俊様を始め、地区役員の皆様におかれましては、高山3クラブガバナー公式訪問例会のために、遠路よりお越しください、本当にありがとうございました。

また、只今は田山ガバナーより卓話をいただきました。その内容は、「会員及び女性会員の増強、例会の実施時間の見直し、これからの人材育成、ロータリーの変化」についてでございました。なるほどと納得の行くことばかりであり、このお話しの内容を図るところを少しでも自己のクラブに反映させねばと考えているところです。

私ども、昨年は剣田直前ガバナー輩出のクラブと致しまして、皆様のご協力を仰ぎながら、地区大会をこの高山の地で開催させていただきました。ビッグプロジェクトをやり終えて、正直「ほっと」していたところではございますが、只今のお話しくださいましたことどもを重く受け止めながら、身を引き締め直しまして、心機一転、明日のロータリークラブの活性化を目指して頑張りたいと思いますので、どうか今後とも、3ロータリークラブにつき、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございました。



ロータリー：変化をもたらす